

総合農業技術センター試験研究課題中間評価表（評価委員会用）

試験・研究課題名

大課題名：環境保全型農業の確立

小課題名：野菜の有機栽培に適した耕種的管理技術の確立（H26～30）

担当者名：窪田哲、萩原裕一、赤池一彦

| 評価項目 | 評価点 | 指摘事項 |
|------------|-------|---|
| 1 研究の進捗状況 | 4 / 5 | 環境保全型農業に適した品種の選定、栽培仕立て法の検討、有機資材の効果の確認など、研究は計画通りに進捗していると評価できる。 |
| 2 研究継続の必要性 | 4 / 5 | 環境保全型農業では、作物生産が環境要因により影響を受けやすいことから、長期的な視野での検討が必要である。当初期待した成果を得るには研究の集積が重要であり、研究継続の必要性が認められる。 |
| 3 期待される成果 | 4 / 5 | 環境保全型農業に適した品種の選定や栽培仕立て法は、直ぐにでも現場で取り入れることのできる手法であるので、開発した手法の利用が期待できる。 |
| 総合評価 | 4 / 5 | 環境保全型農業の推進は、消費者のニーズの高まりからも、現在の農業の中にあっては重要な課題であるので、本研究の継続は必要であると考えます。特に、作物生産が環境要因により大きく影響を受けることから、環境保全型農業に関わる研究集積は長期間にわたることを認識する必要がある。 |